

JALグループ、2008年度路線便数・機材計画を策定

2008年2月1日

第07132号

JALグループは、2008年度路線便数・機材計画を策定いたしました。

2010年の首都圏発着枠拡大に向け、現在、安定した事業基盤の構築を進めております。2008年度は機材更新を加速させるとともに、さらに高いレベルの「ダイヤ品質」、「商品・サービス品質」を目指し、競争力向上を図ります。*尚、下記の計画は関係当局の認可を前提としております。

【国際旅客事業】

2010年の首都圏発着枠拡大に向け、「成田グローバル・ハブ機能の強化」、「羽田発着国際線の増強」を推し進めるとともに、機材更新を積極的に進め「プレミアム戦略」を加速させます。

成田グローバル・ハブ機能の強化

日本発・海外発それぞれのビジネス需要・観光需要のベストミックスを追求したネットワークの増強を行い、躍動するアジア経済圏と欧米をつなぐグローバル・ハブ機能をさらに強化します。また、4月1日より、台湾(台北・高雄)線をJAL便名に統一するとともに、乗り継ぎの利便性を向上させます。

羽田発着国際線の増強

首都圏需要の重要な拠点として、羽田発着の利便性向上を図ります。現在、運航している羽田＝ソウル(金浦)、羽田＝上海(虹橋)線に加え、北京五輪開催に向けて羽田＝北京(南苑)線の運航を計画します。また、国際チャーター運航可能時間帯を利用したチャーター便を2007年度以上に積極的に設定します。

(2007年度羽田発着チャーター運航実績:約280便-運航予定便含む。金浦、虹橋チャーターを除く)

プレミアム戦略の加速

ファーストクラス、エグゼクティブクラスへの新シート導入やシェルフラットシート、プレミアムエコノミーサービス導入路線拡大により、プレミアム戦略を加速し、商品競争力の向上を図ります。

1. 増便

成田発着路線を増便し、グローバル・ハブ機能を強化するとともに、関西発着便の増便を行い、関西圏のネットワークをあわせて強化します。

路線	便数変更	増便時期	備考
成田＝ニューヨーク	週間13便⇒週間14便	2008年3月30日～	毎日2便運航(成田発)
成田＝パリ	週間7便⇒週間11便	2008年7月1日～ 10月25日	火木土日曜日に追加設定
成田＝釜山	週間7便⇒週間14便	2008年4月1日～	毎日2便運航
成田＝杭州	週間5便⇒週間7便	2008年3月30日～	毎日1便運航
成田＝モスクワ	週間2便⇒週間3便	2008年3月30日～	月木土曜日運航
関西＝青島	週間3便⇒週間4便	2008年3月30日～	火木土日曜日運航
羽田＝北京(南苑)	北京五輪に向け、運航計画中(運航環境が整い次第、ご案内いたします)。		

【増便路線】



2. 減便

従来、実施していた成田＝ホノルル、および成田＝バンクーバー線の定期便としての夏期追加設定は行いません。

3. 機材変更

米州線への777-300ER型機導入、中国線の737-800型機投入路線拡大等、ダウンサイジングを促進するとともに、これら最新鋭機材の投入により、商品競争力向上を図ります。

路線	現行機材	変更後機材	実施時期	備考
成田＝ニューヨーク	747-400	777-300ER	2008年8月1日～	006/005便のみ
成田＝サンフランシスコ	747-400	777-300ER	2008年9月1日～	
成田＝広州	767-300	737-800	2008年10月1日～	669/660便のみ
成田＝高雄	747-400	767-300	2008年10月1日～	
関西＝広州	767-300	737-800	2008年3月30日～	
中部＝釜山	767-300	737-800	2008年6月1日～	

4. プレミアム戦略

・新シートの導入(ファーストクラス/エグゼクティブクラス)

路線	実施時期	備考
成田＝ニューヨーク	2008年8月～	新シートの詳細は別途ご案内予定
成田＝サンフランシスコ	2008年9月～	

・シェルフラットシート導入路線の拡充

路線	実施時期	備考
成田＝バンコク	2008年3月30日～	導入済の717/718便に加え、703/704便に導入

・プレミアムエコノミーサービス導入路線の拡充

路線	実施時期	備考
成田＝パリ	2008年4月～	2月中旬販売開始予定
成田＝ニューヨーク	2008年8月～	販売開始時期は別途ご案内予定
成田＝サンフランシスコ	2008年9月～	

【国内旅客事業】

最新鋭リージョナルジェット機エンブラエル170(E170)の導入、および737-800型機の増機を行い、機材更新を加速させるとともに、国内線ファーストクラスを羽田＝福岡、羽田＝札幌線に拡大し、プレミアム戦略を強化します。

また、2007年度全社をあげてダイヤ品質向上に取り組み、定時出発率が大幅に改善しました。2008年度もダイヤ品質の更なる向上に取り組みます。

日本初 最新鋭リージョナルジェット機 E170の導入

国内で初めてジェイ・エアがE170を導入し、2009年2月より、名古屋空港(小牧)を中心とした路線から運航を開始します。JALグループは地方ネットワークの充実を図ります。



富士山静岡空港 静岡＝札幌、静岡＝福岡線の開設

2009年3月に予定されている富士山静岡空港開港にともない、静岡＝福岡線、静岡＝札幌線を開設します。

関西路線の充実： 関西＝仙台線の開設、関西＝沖縄線の増便

関西＝仙台線を1日1便開設します。関西圏へのアクセスが充実するとともに、上海や東南アジアなど国際線への乗り継ぎが可能となります。また、関西＝沖縄を増便し沖縄への観光需要喚起を図ります。

1. 新規開設

路線	便数	開設時期	備考
関西＝仙台	1日1便	2008年4月1日～	
静岡＝札幌	1日1便	2009年3月～	
静岡＝福岡	1日3便	2009年3月～	

2. 増便

路線	便数変更	増便時期	備考
羽田＝宮崎	1日4便⇒5便	2008年4月1日～ 5月31日	
関西＝沖縄	1日4便⇒6便	2008年7月1日～ 9月30日	
	1日4便⇒5便	2008年10月～	

3. 減便

路線	便数変更	減便時期	備考
伊丹＝福島	1日2便⇒1便	2008年4月1日～	日本エアコミューター便の減便

4. 運休

路線	便数変更	運休時期	備考
札幌＝沖縄	1日1便⇒運休	2008年4月1日～	2007年4～5月、 10/19～11月運航
釧路＝旭川	1日1便⇒運休	2008年4月1日～	北海道エアシステムによる運航

5. プレミアム戦略

羽田＝伊丹線に導入した国内線ファーストクラスを羽田＝福岡、羽田＝札幌線にも導入します。福岡線は4月より、北海道洞爺湖サミットが開催される札幌線には6月より導入します。また、7月には伊丹線15往復全てにファーストクラスをご用意し、プレミアム戦略を強化します。

【貨物事業】

747-200型貨物機(747F)から747-400型貨物機(744F)への更新を完了し、直行化による機材稼働向上を継続するとともに、767-300型貨物機(767F)を機動的に配置し、旺盛な中国・東南アジア地区の需要に柔軟に対応いたします。

<主な路線・便数変更>

(実施時期は全て2008年3月30日～)

路線	運航機材	便数	備考
成田-中部-天津-関西	767-300F	週間2便⇒週間0便	天津/大連2地点寄航に路線を変更
成田＝大連	767-300F	週間1便⇒週間0便	
関西＝大連	767-300F	週間2便⇒週間1便	
成田-天津-大連-成田	767-300F	週間0便⇒週間1便	
成田-天津-大連-関西	767-300F	週間0便⇒週間1便	
成田＝青島	767-300F	週間1便⇒週間2便	青島への運航便数は変わらず、路線の組み替えを実施
関西-青島-成田	767-300F	週間2便⇒週間1便	
成田＝広州	747F⇒767F	週間1便	機材変更
関西＝台北	767-300F	週間0便⇒週間2便	新規路線
成田-関西-台北-成田	747-400F	週間1便⇒週間0便	767Fの関西＝台北線運航に伴うルート変更
成田＝台北	747-400F	週間4便⇒週間5便	

【機材計画】

747型機材の10機退役を予定する等、機材更新を積極的に進め、競争力向上を図ります。

導入	777-300ER	767-300ER	737-800	E170	合計
	3機	5機	9機	2機	19機

退役	747	767-300	MD81		合計
	10機	2機	6機		18機

以上